

麻布屋桂田町五〇、

後藤新平殿

親辰





大正十二年三月十日

南摩 紅磨

特許書下付、清承之段奉禮加至

昨今ノ政界ハ全ク黒雲ニ覆ハシ有義者ハ天皇、大統領
何處ニカ居ム、僕ヲ僕ニ公卿ノ親政附テ信セサル從事者
元見ガル所ニテ紙政臺内閣、日本、獨特ニ通セサル事
寒ヲ明示セル事ニ付禮乞照ルニ是下ル昨今政務署
奪、野心ヲ捨テレ一意権能紙政部、建設ヲ思ヒ立タレ
一回ハ大調查、獨處ヲニ根柢ニ託シ、大政改組ヲ
五ニ居ラシ申呈御詔ニ付シ、本題臺ト奉存コモ
就テハ都市建設ニ付スル根見ヲ左ニ附記社ニ主ニ付侍
一覽御印下呈ハバ幸甚ニ奉存

都市建設ニ付スル主要条件

一、地勢ノ利ヲカ一往ニ置ク事

従事ハ必要ニ水運ノ便ヲ先ニレ主ヒニモ右後ハ高塚平
立タル也ラオ一トナニ可キ所ニ達セし事

一、都市ハ篤テ中心主義ヲ以テ建設ス可キ事

帝都ニアリテハ皇居ヲ中心トシ他ニ在リテハ官公役所ヲ

中心トナレ整然タル市街ヲ直営スル事

一、市内ノ建築、家屋、特種ノ者ヲ除キ他ノ一室ノ様式ニ
依リ、舊ノ官、公設、官、公有トナレ私設私有ヲ許サズ

事

一、官公所ハ四階、他ハ三階建トナエ可キ事

一、市街ヲ隔テ、其別ニ依リ、其ノ居住所ヲ定ムル事

一、道路ノ所ニ依リ、砂通、木通、石通、コンクリート通トナレ
兩側ニ窓隔テ、又ケ底部、下水路至、上ノ水道石筋甌
等、並通路ニ當ル事

一、鉄道ノ市内ニ、ノハ老ハ皆高架線トナエ事

一、市内ノ交通機関ハ、主トレテ、車、大、自転車(ニ階付)ニ、並

ラシムニ事

一、工事地ハ、市外ニ限ル事

一、立常、裁判所、監獄、公設テ、市外ニ定ムル事

曰都市ノ大陸ヨリナシント欲セバ現代ヨリハ將軍ニ童キヲ置キ
都市トシテノ如要条件ヲ完全ニ具備セルヤ否ヤラオ一易ニ
研究セサルニ可カラニ而ニテ洋ノ東西ヲ向ヒエ曰大都市ハ科學的
智識ノ發達セサル古代ニ室ナラシタル者ナシ其ノ易クハ將軍ニ
亘ルモ勤カス可カラサルニ好適地ガ望ム室セラシ申居リ申ニモ
將軍偉大丸主權ノ發展ニ向キ運命ヲ禱ヘリ曰シノ帝都トシテハ
万人ガ自由的ノ智國乃チ地勢ノ理ニ依テ室ナラシタル山城ガ太
和國旋ノ中心地タル可ホ也ニ至近年營々可キ發達ヲナセシ武
器ニ対スル防衛ニ自由的物ノ化ニ依ル平和的精神性居十ガラニシテ
厚得し得ル帝國雖工中誠良ノ地ニシテ

明治大帝ノ王政復古ノ誓ヲ完成セラレニガタメ都ヲ東京ニ置カ
シシトテノ其誓ノ回りシ往還ニ東京ヲ帝都ト室ナラシヒシ帝
國志ニテハ嘗テ帝之侍陸ヨリ都山ニ室ナラシヒシ御置駕ニ依リテモ勤カニ
其ノ比連ヨリ宮ヒ得ラシ可申ヌタ現帝モ即位ノ大元ヲ曰都ニガラ
行ハシニハ嘗ニ御禁ニ行ル形式ノミニテハ嘗テ軍ニシテ
山城ノ古事記ノ國民ニ廟ニ対スル要ノ如キ信食ヲ營ヘ其ノ氣ノ

起居し居る地ニテ才氣ハ利潤ノ為ノ政務ヲ委セシ幕府即
チ武將ノ也在地強言ニシバ一朝事起りシテ宣西九州トヒ宮ト
連絡ヲ絶テ大兵ヲ用フヒニ便ナル所ニ主え主血脉城ハ最適地ナ
シニ同地ニハ皇居アリヌタ大隈ノ地ノ利大ナレシ帝都ニシテ和様ヲ
雪ニテニ便ナラズ行テ北宮館屋ナル幕所ノ下ニ振振ヲ乗
カキ此ニ宣ナタルニテオニ主之し内同の自家防衛ヒヨリ打蓋セラ
シタル振振地ニシテ帝都トシテハ併子ノ養丘士ラモ見得セサル地
ニシテ

神武天皇ハ宣ニ備大ナリ萬年ニ帝都トシテ壹セル地ヲ都トレ
室ナラレ置カレシハ睿智ノ及ブ所ニアラズ知る者上軍略上交面上
帝都トシテ他ニシテ可ヨリ地ナシ現立ニ於ケル主立タル朝臣申
左今ノ通量し豪固ノ御金ヲ開断シ帝都地勢ノ適用ヲ詳ニシ
在アリヤ擅能的智筋ヲ有スル才人ハ多シト云フ元徳括的大智
創始ノ、智能ヲ有スル、臣其位ニアラサルヲ惜シニ申豆
臺灣ノ書ノ大和民族ノ中心地トシテ山城ニ帝都ヲ新設ス
而ナ軍ヲ設スル者ニ至故ニ理左ノ帝都タル東京市ヲ吉野ニ対シ

テカラサル(外堅)大都市トニテ大規模ノ改進行備ヲ施サレトナス
眼鏡ヲ戴セサル近眼者ノサ浦ヲナエノ類ト新ニ申コモ
对西界の都市ト建設ハ旧都山城ニ新都ヲ新設スルガ最モ適
古ト確信ニ申ニヨリ新都ヲ山城ニ復スルハ天ノ命地ノ利ニ
従ヒ人ノ和ヲ得ル最上ノ策ニ有之ニ至

西界ノ大勢ヲ察スニ東京ハ將來商工業地トニテ大发展ヲナシ
移心遷都ヲ戴セ居ル者ト信セラシミモ新都トニテノ適也ノ
地ニ乞告六七十ヶ計画ヲ以テ山城ニ遷都シモ最界的確義ノ最
都建治ノ年運治年ノ名ノ高麗乙ノ元ニテ

右ハ帝都遷都ノ根柢方針ニテ毛ガ峯下ニ現庫京市ヲ大改進
而サレニト考ヘ居レテ是墨瓦ノ革ニテ至ヘニモ花園ニ西界ト
テニ此ガル都市ヲ形成セラレント鉄セバ鉄ラクアノ中山ヲ遷カノ
西ニ移シ台傍ニ於テ墨下ガ築セラレ大針ノ如ク中央都ナル
皇居ノ建移ヲ先ニシテ官公署ヲ至テ現在ノ東京ト新設
都市トノ關係ヲ考略ニ於ケル大江ト京都ノ關係ヲ擇ヒセシナ
急行ニ道リヒクハガ可ナリト存ニ

11月市ノ大改進ハ甚、官ト道ヲ完モル事ヨキノヘ十ニ及テ
長年ノ勞ス事ニ至

支那ニ於ケル運輸ノ將軍ハニ揚ニ分ル、若ニ洋車主（都市ニ於ケル）
即チ大臣授ノ其同大運輸一部（都市一極主事）ト三階以上、厚
令都令（將軍）運輸ヲ除クノニ揚ニ歸着ニル若ニ主而レ副若ニ
大陸方面ニ於ケル運送レ曰ク、如キ此様ノ國ニ於テハ後若ニ歸着ニ
ル者ニ至大陸ナカナル曰クニ於テ副若ヲ學ベハ萬里ノ長城ト
同様ノ運ニ隔リ可申至

而今即ニ於ケル運輸ノ輔導ヲ見ニ既夕中軍ニ在ル改不都布ノ
現此ニ當ヒ將軍第ニ短カレたれキニ長キ外究附虚飾ヨリ運輸
諸所ニ立チ居リ主事大ノ常ト量リ暫シ暫断レ古人ノ残セニ大智ヲ味ヒ
宜ニク大智ノ將軍歸着ニ至ク既断レ古人ノ残セニ大智ヲ味ヒ
所學ノ新智ヲ用ヒ支那ニ於テ示し得ル行盡ラニツ可キ事。
主事の細工ノ改進ニテハ常ニ既年ノ旧態ヲ差仰ルノミナ國民
ノ事ニシテ改進ノ事ニ當年得タルノミナラニ往ラニ民力ヲ不生怠約
括ラスノ事ニ改ニシテ序

都市ノ善ハ大家公耳ノ致ヨキ事：即ニテ諸政事ノ私ニテ
ニ有ニ至サ観ノ善ハ本錦ノ元敷ニテモ施ヒノ善物ノ殊ニ限豆テ
善シキ處ヲ豈つる者ニ至サ走人ヲシテ快便ヲヨハシルハ外観ノ
善ヨリハ市民ノ公徳ト秩序、無観切ハノ善處ニ有ト也：有ニ至日取如
何：あセテ又都市トシテ政事萬事：依ニサ観ノ善ヲ此ヒ同僚ニ列
セニト飽元ニ能ハシニ審口曰：於テ特：荒遠セニ隕徳ノ善ヲ
時ハシケルニ加カズ吉人ノ揮玉ノ神社ノ運営ハ如何（日本送リ）社殿ノ
能ク豪華ナリ其ノ善ヲ有シ本錦元ノ觀ニ得物ヲ用フルノ飾リ
方ハ如何。然キヲ先ニニハ其智ヤ低ク内宮ノ元宮ヲ先ニニハ暨ナリ
人體ガ智的動物タル以上民衆ヲニテ暨ナリシメサル可カラズ更ニ後
加何宣傳的智能ヲ匪羣セシル教育：在リ民智民力充實セバ國
體的ニ不體體式ノ家屋ニ増加シ衛生思想ニ善及セシル然後
都市ノ大改造ヲ斯行スニガ如是ト存主導ニシテ都市ノ大改善ハ
市民生活状態、安寧ヲ得ルガ先決問題デアル即チ市民ノ生活
上必要乞ク同カラサル諸物件、市價ヲ公定シ市民ヲニテ予定アレ
生活ヲ當ニ易カラシムガ根柢ト在シ

現在：於ラ東京ハ帝都也が故ニ他市ニ先ンじテ此是ニ主カラ
注キ他ニ紙ヲ示サレニ事第ラ希望到2事ニ序記之

署トシテ現ニ一東京市ニ大改造ラ施サシトノ時法シニ主ヘバ先フ
富義ヲ説キ一社ヲ創立セシト旨申ノ理ニ地ニ範囲即シ市街ヲ
運営セシナ市民ノ自覺ヲ促サレニ事ニ勸告到シ

昨年序宣令化リ至節是トノ序吉諱ヲ知リ得申コモニ付
先社ヲ顧ニシテ其見ノ一端ヲ起リ出キ觸り是上化ル迄アリ

序記之

敬里

大正十一年三月十三日

南齊紀曆

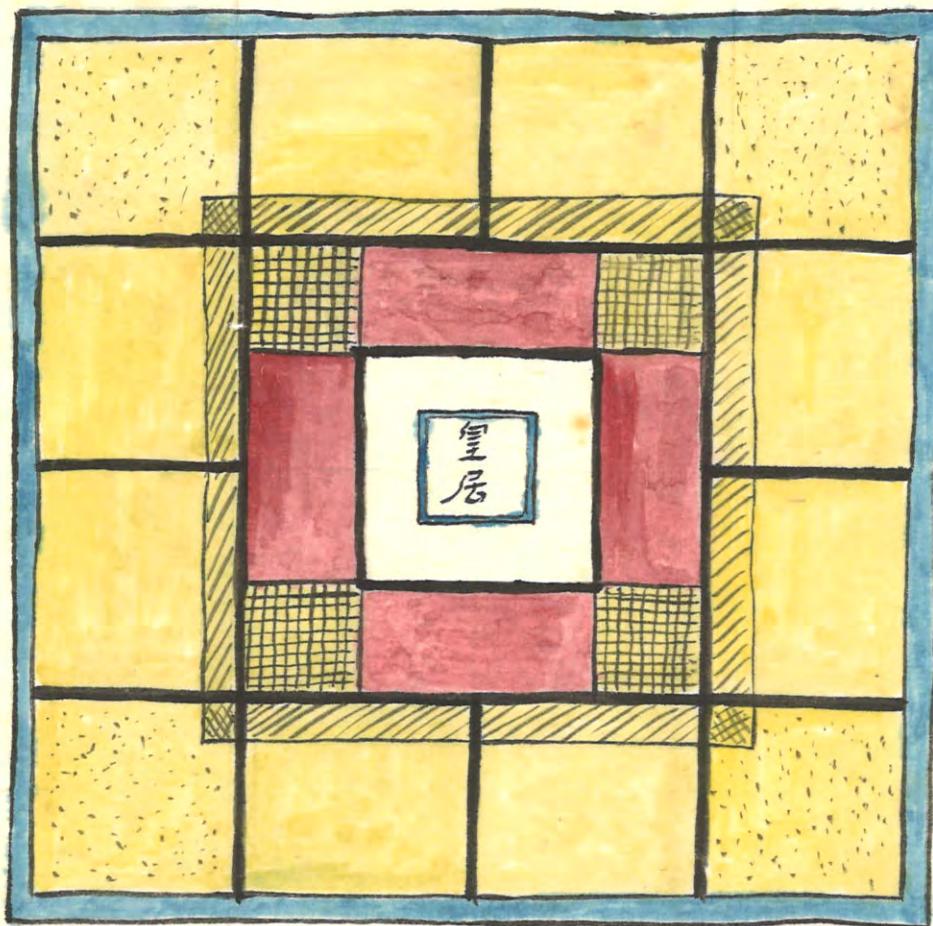
市下落合丸六

後藤新年

○市長トシテ序宣令化リシテ大帝國ノ名ノ具体的分觸是
作成提作可仕立

大帝都地図分図

市有地ハ公園地、除十二處ニ配割ス



□御料地
■官有地
□市有地
□自由地
■大停車場
■大公園
■小規範繁殖産工業地

- 御料地内ニハ皇族、住室並ニ宮内閣係以外、建物ヲ造ル事ヲ得ズ
- 官有地ニハ内外、官署並ニ諸官設建物、外設クル事ヲ得ズ
- 市有地ニハ公園地、自由地、闊地ヲ除ク外一定様式、建物ニシテ造ル事
- 公園地ニハ大集会堂、運動場並ニ運動場ヲ設クル事
- 停車場地ニハ旅館町ヲ設ケ停車場ノ屋上ニ步行橋、着下場ヲ設クル事
- 自由地ハ大中小、地割ヲナシ孤立ニタル住宅ヲ建設スル事ヲ得建等様式ハ自由ナシ三階ヲ起六、事ヲ得ズ
- 繁殖産工業地、建物ハ別ニ制限ヲ附セズ
- 他ハ交通道路、各處市街、官有地配分